

製品類、部品類などの最終加工は加飾処理である。工業製品を「商品」として価値あるものに仕上げるのは、加飾技術である。近年、環境に優しく、あらゆる負荷が小さい加飾技術が求められている。我々は、社会の要請に対して真摯に取り組み、優れた加飾技術について調査・研究・開発等を積極的に進め、社会・経済発展に寄与すべく加飾技術研究会の活動を展開するものである。

会長挨拶 平成23年度の加飾技術研究会

(会長 秋元技術士事務所 所長 秋元英郎)

このたび加飾技術研究会の会長をつとめることになりました。

加飾技術研究会は平野技術士により設立され、特色ある加飾技術を持つ企業の発掘や情報の発信を行ってまいりました。設立から3年経ち、軌道修正の必要な部分も見えてきました。

ところで、加飾という言葉は最近よく使われるようになってきました。従来は、塗装、めっき、フィルムインサート等の個々の技術が独立していましたが、近年では同じ出来上がり(見栄え)を得るために複数の技術が候補になることが多くなっています。例えば、プラスチックの表面を金属のように見せる技術にはめっき、金属蒸着、銀鏡、塗装、箔転写、フィルム貼合、金属フィラー練り込み等の技術があります。最終ユーザーにとっては金属のように見えればどの技術が用いられてもあまり関係が無いかも知れません。

このような状況において、加飾技術に係る商業セミナーも多く開催されています。しかしながら、加飾技術に係る技術者・研究者が

集う場が無いという問題も指摘されておりました。加飾技術研究会はそのような場の提供ができると考えています。

これからの加飾技術研究会における基本的な考え方は以下の通りです。

- 1) 目的は加飾技術の専門家が集い、議論する場の提供です。そのため、加飾技術の世界で活躍している多くの方に会員になっていただく必要があります。
- 2) 会費は負担にならない金額にします。
- 3) 年に4回程度、内部あるいは外部講師を呼んで研究会を開催します。
- 4) 独禁法上問題となる個別企業のマーケット情報には触れないことにします。
- 5) 中立的な立場を堅持し、特定の企業(会員であっても)の広報、宣伝は行いません。
- 6) 非営利組織とします。

どうか皆さんの周りの方々にも参加の呼びかけをよろしく願いいたします。

東日本関東震災のお見舞い

(代表理事 平野輝美)

加飾技術研究会レターを編集しているころでした。去る、2011年3月11日の14時過ぎにM9.0という巨大地震が発生しました。その後の巨大津波と原子力発電所事故につきまして、その被害の詳細は未だ全貌が明らかになっておりません。本震災は、その被災範囲の広さが極めて広いことでしょう。そして、直後に海岸線を襲った巨大な津波による被害の大きさでしょう。地震、そして津波に被災されました皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

加飾技術研究会レター第8号を編集集中の3月下旬になっても、いまだに収束の様子を見ることができない原子力発電所事故は、長期に

わたる影響が懸念されます。影響を受ける方々の損害が小さいことを祈念いたします。

弊会の事務所は港区ですが、多少の被害を受けました。震災当日は、事務所の前の道路に沢山の人が飛びだしてきました。大きな地震であることがすぐに理解できました。周辺を含めて、大きな被害は見られません。弊社としても、活動を継続していく上では特に大きな支障にはなっておりません。震災復旧に寄与すべく、弊会の活動を活発化させます。皆様、よろしく願いいたします。

加飾と収益

(代表理事 平野輝美)

リーマンクライシスの前後ではあらゆるものが大きく変わりました。経済発展は、バブルだったのかもしれませんが。リーマンクライシスでは、果敢な投資が明らかになり、その結果の焦げ付きとなりました。リスク管理と評価の問題としてあぶり出されたのかもしれませんが。いずれにしても、多くの企業が大きなダメージを受けました。そして、リーマンクライシスまでの経済状況と、その後の経済状況は大きく変わりました。経済状況は急速に悪化しました。皆様、実感されていると思います。

日本では、その後の政治的な流動化もあわせて、経済の安定化や

拡大には至っていないように思います。そして、3.11の巨大な震災の発生と、原子力発電所事故です。日本は、まれにみる状況にあることは明らかでしょう。

世界を見てみましょう。欧米諸国ではリーマンクライシスを回復するために、金融的な対策が強力に実行されました。その結果、経済的な回復基調を得ることができたのかもしれませんが。しかし、リーマンクライシス前のバブルを上回るようなバブルが仕込まれたのかもしれませんが。

さて、このような経済環境で、加飾はどのようになるのでしょうか。研究会やレターでもお話してきましたが、欧米諸国や日本・韓国・台湾などは、商品が飽和した社会になっています。このような状況では、商品を選択する時に、いわゆる『商品の機能』だけではなく、さらにもう一つの選択軸が存在します。それは、色であったり、デザインであったり、手触りであったり、重さであったり、軽さでしょう。これが商品への『加飾』であると考えます。第1図に商品の品質レベルとその構成要素／評価などをまとめて示します。商品の一次品質は、当然のごとく

品質レベル	構成要素	測定・評価	感性評価・品質
一次品質	機能・使い勝手・耐久性など	理科学的測定・機能測定など	} 広義 } 狭義
二次品質	外観・見た目・デザイン・使い心地・分かり易いなど	官能検査	
三次品質	ネーミング・ブランド・製造者(企業名)など	イメージ調査	

第1図 商品の品質とその評価

あるレベルを超えていることが求められます。これは、極めて当然であると考えられます。さらに、一次品質は、いわば当然満たさなければならない要件であるが故に、差別化の要因として機能しにくくなっているでしょう。特に、多種多様な商品が潤沢にある社会では、商品選択の主要な項目とはならない可能性があるでしょう。よって、商品訴求性を高めるには、二次品質や三次品質を活用することが求められます。

近年、加飾技術研究会では、究極のカスタマイズサービスをご提案してきました。個人の経験や記念とすべき記憶や嗜好や特別な存在など、個人特有の情報を「固定化」して、可視化するサービスとして、例えばOnly for YOU iPhone Protector をご紹介しました。このサービスは、なんでも良いですから個人的な画像をご提供いただき、その画像を iPhone 用のカバーに「固定」するものです。世界で「唯一」のアイテムを製造するサービスになります。

このような製品は、コピーすることに意味がありません。その人の記憶と経験と嗜好などの特別な情報と強く結びついて初めて意味があ

るのですから。

ご紹介した、Only for YOU iPhone Protector のサイトは、iPhone 用のカバーを提供するビジネスです。この、iPhone 用のカバー以外にも、いろいろな製品やサービスの可能性があるでしょう。一例を挙げれば、結婚式の引き出物として、結婚する2人の思い出の画像を固定したワインボトルを作製する・・・、還暦に記念となる品物を作製し、お祝いとしたい・・・、七五三の写真を記念のアルバムの表紙に固定したい・・・同時に、iPadカバーに固定したい・・・、などなど考えれば無限です。そして、個人の自己実現の欲求レベルのサービスであることから、複製などの意味は全くありません。個人の要求に対する固有製品であり、ただ一つであることがその記憶や経験に繋がり、重要な価値を持つのですから。

Only for YOU iPhone Protector のサイトは、www.nano-phase.biz からリンクしております。ご参照ください。



第2図 Only for YOU iPhone Protector サイト

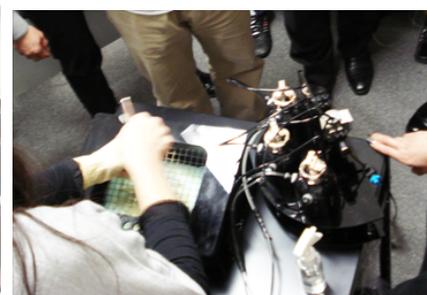
素材に価値を 高級感セミナー報告 (代表理事 平野輝美)

日刊工業新聞社と共催で、「素材に価値を 高級感セミナー」を、平成22年2月2日に開催しました。本セミナーでは、様々な素材に対して、価値を付与すべき加飾技術をご紹介するものとして実施いたしました。多数の皆様が集まり頂き、55名のご参加を頂き盛会でした。第3図にセミナーの様子をご紹介します。また、第4図は、セミナーで実施されましたデモストレーションです。ネイル加飾で、アーティストの方によって実際にネイルに処理いただきました。目の前で処理することはやはり迫力がありますね。このシステムは可

搬型であり、一人で動かすことができます。ぜひ、出張デモいたしますので弊会にご照会ください。



第3図 セミナーの様子



第4図 ネイル加飾の実演

素材に価値を

～高級感セミナー～

高級感を切り口としたものづくりやデザイン開発が活発化している。大量生産・大量消費の時代は終焉を迎え、人の感性に訴えるものづくりやデザインが求められているのである。消費者意識では高級感やデザインは定量化できないもの。しかし、作り手は人の感性に訴えかける製品開発につなげ、ビジネスに落とし込む方法を模索している。本セミナーでは、高級感を切り口として商品開発へ適用可能な手法をご紹介します。

主催：日刊工業新聞社、加飾技術研究会（研究会員は2名まで無料）
開催日：2011年2月2日、受付開始：13時10分
時間：13:30時～17:30時、場所：品川区中小企業センター（下神明）

プログラム

13時30分～	はじめに	
13時35分～14時15分	加飾と高級感	(加飾技術研究会、平野)
14時15分～15時35分	キラキラ感の付与	
14時15分～	プラスチックの金属調加飾	(秋元技術士事務所、秋元氏)
14時55分～	金属調塗装(銀鏡)	((株)表面化工研究所、橋本社長)
15時15分～	金属ナノ粒子加飾	(東海大学工学部、前田教授)
15時35分～	休憩	
15時50分～16時50分		
15時50分～	少ロット水圧転写TAS	(ミズノリペア、阿部取締役)
16時05分～	オンデマンド水圧転写RP	(ミズノリペア、阿部取締役)
16時20分～	ピクチャー塗装	((株)トコウ、斗光社長)
16時40分～	シルバー(銀鏡)ネイル加飾	(クールコンセプト、横井取締役)
17時00分～	金属表面研磨加飾	(中村金属工業、三木社長、遠辺顧問)
17時20分～	まとめ	(加飾技術研究会、平野)

第5図 素材に価値を 高級感セミナーのプログラム

本セミナーでは幾つかの加飾技術をご紹介します。デモンストレーションや、実際の商品例をなどをご紹介します。

第5図にセミナープログラムをご紹介します。セミナー内容を簡単にご紹介します。第一部として弊会会長秋元氏によりフィルム加飾技術、(株)表面化工研究所橋本社長より銀鏡塗装、東海大学前田教授より銀ナノ粒子プラズモン加飾とそれぞれのご紹介を頂きました。第二部として、(有)ミズノ阿部取締役より少ロット水圧転写技術、(株)トコウ斗光社長よりピクチャー塗装、(株)CoolConcept横井取締役よりネイル加飾、(有)中村金属工業三木社長よりステンレス加飾をそれぞれご紹介いただきました。それぞれの加飾技術の詳細につきましては、弊会までご照会ください。

ご照会は、代表理事 平野(info@ce-hirano.com)までお願いいたします。

平成22年度加飾技術研究会活動報告

加飾技術研究会は平成20年10月から活動開始しましたので、平成22年度で3年目となります。少しずつ加飾という言葉が知られてきたように思います。加飾を周知頂き、皆様の事業に寄与する活動を進めております。最近では、商品開発の主要な観点として、加飾を取り上げて頂く機会も増えてきているように思います。今後ともよろしく願いいたします。

- ▶平成22年5月 実用新案 銀鏡塗装品 出願
- ▶平成22年7月30日 セミナ「プラスチック加飾技術と金属調表現」に平野理事、橋本理事にて講演した。
- ▶平成22年8月 実用新案 銀供塗装品 出願
- ▶平成22年8月25日 「プラスチック加飾技術」セミナーにて平野理事にて講演を行った。

- ▶平成22年9月15日 「加飾技術の現状と展望」平野理事にて講演を行った。
- ▶平成22年9月31日 「金属光沢を中心としたプラスチック加飾技術」(プラ工技研技術講演会)で、秋元理事、橋本理事にて講演を行った。
- ▶平成22年11月3日 「産業交流展」(東京ビッグサイト)に出展し、加飾技術と試料を展示した。
- ▶平成23年1月27日 「プラスチック加飾技術の基礎知識と最新トレンド」で平野理事、秋元理事にて講演を行った。
- ▶平成23年2月2日 「素材に価値を」で秋元理事、橋本理事、阿部理事にて講演を行った。
- ▶平成23年1月19日 第9回理事会を開催しました。

平成23年度総会のご案内と予定

平成23年度総会は、定款の規定により年度終了後2ヶ月以内に開催することとなっております。本年度は、以下のように開催させていただきます。

▶第3回定時総会のご案内

第3回定時総会を以下の日程で開催します。研究会は会員の皆様以外にもご参加いただけます。ぜひご参加ください。

期日 2011年5月20日(金曜日)、13時30分～14時00分

場所 新橋事務所(地図参照)

総会后、『加飾技術の現状と将来』についてセミナーを開催させていただきます。

加飾技術研究会第5回例会:テーマ『加飾技術の現状と将来』

14時00分～14時45分:高付加価値加飾の現状(会長 秋元氏)

14時45分～15時45分:ネイル加飾技術のデモンストレーション

15時45分～17時00分:加飾について考える一討論会

17時00分～19時00分:懇親会

▶加飾セミナー

加飾に関するセミナーを開催します。

2011年6月16日(予定)、詳細はウェブ

http://web.me.com/ce_hirano/KASHOKU/TOP.html

を参照ください。

▶企業見学会(予定)

2011年秋季研究会として、プラスチック成形事業を行っている企業を訪問します。

▶冬季研究会(予定)

2012年冬季研究会を予定しております。

書籍のご紹介

新コーティングの全て

コーティングというものを基材に対するなんらかの膜を形成することと捉え、そのプロセスや資材、機材など極めて広い範囲にわたって網羅的に解説した書である。コーティングにおける課題など、例えばいかにして機能性薄膜を形成するのか・・・など、機材に対して価値を付加する技術としてコーティングを捉えています。【加工技術研究会編】



プラスチック加飾技術の最新動向

プラスチックを対象としたいろいろな加飾技術についてまとめたものです。最近、多種多様な加飾技術が提案されています。産業技術としてたくさんの提案がありますので、ご要望に合った最適なものを選択することが必要と思います。盛りだくさん一冊です。

【シーエムシー出版, ISBN 978-4-7813-0255-3】



機能性酸化鉄粉とその応用

著者の堀石七生氏は酸化鉄の機能を活用した様々な製品の開発の実績をお持ちです。「酸化鉄粉ベンガラは生活に密着した機能性材料であり、酸化鉄ナノ粒子は情報産業の米である」。古くて新しい機能性材料である酸化鉄の今後の展開にご期待ください。

【産業図書, ISBN:4-946553-26-6】



新橋のちよつと良いお店

新橋駅から、有楽町方向に大通りを渡った所のガード下にある“石志水産”という居酒屋さんですが、安くておいしい魚を出してくれます。飲み物も一律350円です。都内に数店舗展開していますが、弊社関連では新橋店に通っております。

元気酒場 石志水産 新橋店 〒105-0004 東京都港区新橋1-13-1, 16時～, 03-6808-3521 日曜祝日休



加飾技術研究会では一般社団法人東京技術士会 SIG表面処理技術研究会と連携をもって活動しております。今後の東京技術士会と加飾技術研究会に注目ください。

加飾技術研究会事務所紹介 :新橋にあります平野技術士事務所内にて活動させて頂いております。ご入会申し込み、質問、その他何でも、メールにてお問い合わせください。e-mail info@ce-hirano.comです。地図を載せます。右端の駅が新橋です。上が東京方向です。近くまでお越しの際はぜひお立ち寄りください(訪問前には電話をご一報ください。090-3694-7864です)。



おくづけ

加飾技術研究会ニューズレターVol. 08
 発行年月 2011年4月1日
 発行者 加飾技術研究会 代表理事 平野輝美
 ☎090-3694-7864 e-mail info@ce-hirano.com
 年4回発行 季刊 定価250円

加飾技術研究会 実用新案のご案内

▶「銀鏡塗装形成品:実願2010-4183号」

本実用新案は、銀鏡塗装の大きな特徴の一つである“部分光透過塗装膜”を汎用的な成型品に形成した資材に関するものです。

簡単にご説明すれば、ハーフミラー塗装膜を形成した成型品一般に関する権利になります。ハーフミラー塗装を実施されている企業の方々、ぜひ、本実用新案をご活用ください。

▶「銀鏡塗装形成品:実願2010-未確認号」

本実用新案は、銀鏡塗装の大きな特徴の一つである“部分光透過塗装膜”を活用して、自発光資材の表面装飾として活用する資材に関するものです。例えば、ハーフミラー塗装膜の地下層として、蓄光層を形成しておくことで、外部からのエネルギー供給無しに発光します。装飾用のプレミアム製品など、インジケータ、アイキャッチ性に優れる看板、案内板、例えば警告板など、自社製品の高機能化にぜひ、本実用新案をご活用ください。

▶使用方法

本実用新案は、加飾技術研究会にてライセンス先を選定する権利を有しております。当然ながら、本会会員企業や、会員の方には優先してご活用いただくことができます。ぜひ、本会会員としてご活用ください。

加飾技術研究会

事務局：平野輝美

連絡先：平野技術士事務所

Tel 090-3694-7864 FAX 020-4624-8551

所在地：105-0003 東京都港区西新橋1-17-7

第一稲垣ビル 創造工学研究所内

平野技術士事務所 代表 平野輝美